

公表日：2024年7月14日

事業所名：放課後等デイサービス HANON

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	十分に確保されている。	はい・・・7人 いい・・・3人 どちらとも言えない・・・1人 わからない・・・1人	使ったら片付ける習慣を継続し、5Sの徹底を行う。
	2 職員の適切な配置	一時期は不足していた時期があるが、現在必要な児童には1対1で対応するなど適切な配置ができています。	はい・・・8人 いい・・・1人 どちらとも言えない・・・1人 わからない・・・1人	利用者の特徴に応じた配置を継続して行っていく(基準以上の人員配置)
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	利用開始から終了まで、ホワイトボードに時間、内容を掲示し分かりやすい工夫をしている。	はい・・・8人 いい・・・1人 どちらとも言えない・・・1人 わからない・・・1人	もっと分かりやすく、伝わりやすくする為の案を出し合っ、もっと良くしていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎朝、全職員での清掃をはじめ、送迎車の洗車など常に綺麗な生活空間確保に努めている。	はい・・・8人 いい・・・1人 どちらとも言えない・・・1人 わからない・・・1人	5Sの徹底は継続してやっていく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎朝の朝礼にて、当日の目標設定を行い、夕礼ではその振り返りと改善点をランダムで発表する事で常に業務改善に努めている。		今日より明日、常に向上心を持って取り組んで行く。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	行っていない。		費用の兼ね合いもある事から、必要だと感じた場合は検討していく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	今後の業務で必要な研修と判断した場合は参加させている。		職員の成長に必要な研修は参加させて行く。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	出来ている。		全ては子供の将来の為に真剣に計画して行く。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	出来ている。		全ては子供の将来の為に真剣に計画して行く。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	出来ている。		全ては子供の将来の為に真剣に計画して行く。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	計画書作成後、職員全員に共有し、支援内容を朝礼等で再確認を行っている。	計画書に沿った的確な支援が出来ている・・・11人	全ては子供の将来の為に真剣に計画して行く。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	支援者間で意見を出し合い、立案出来ている。		チームで取り組む重要性を全職員が理解小さな成功を喜べるチーム(組織作り)を継続して行く。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は短い時間で濃密な時間となる様な支援を計画し、長期休暇は長時間になるので、飽きさせない支援(毎日イベント)を計画している。	活動プログラムが工夫されているはい・・・6人 わからない5人	長期休暇は毎日イベントを行い、利用者の思い出になる出来事を支援の中にも取り入れて行きたい。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	ベースの学習支援、系運動活動を中心としながらも飽きさせない事も意識しながら工夫している。		どんな事をしているか、もっと細かく保護者へ発信する事で安心して預けてくれると思うので、継続して発信していく。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝礼、昼礼にて毎日確認している。		日々精度を上げて継続して行く。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	夕礼時に毎日行っている。		日々精度を上げて継続して行く。
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	出来ている。		日々精度を上げて継続して行く。
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	出来ている。		継続して行く。

公表日: 2024年7月14日

事業所名: 放課後等デイサービス HANON

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	必要に応じて、定期的に参加している。		継続して行く。	
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当なし。		該当なし。	
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当なし。		該当なし。	
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	出来ている。		継続して行く。	
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	まだ卒業生はいないが、卒業の際は情報提供する為の準備は出来ている。		繋がりを事前に作っていく。	
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	支援センターとの連携は取れており、専門機関での研修受講はこれから取り組む予定。		必要に応じて対応していく。	
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	出来ていない。	はい...6人 ...5人	わからない	関係性を構築して行きたい。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	出来ていない。			必要に応じて対応して行く。
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に書面にて丁寧に説明している。	はい...8人 ない2人	どちらとも言えない...1人	引き続き丁寧に対応して行く。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	契約開始時に丁寧に説明し、支援計画更新時に再度手摺に説明している。	はい...5人 ない2人	どちらとも言えない...2人	定期的に保護者の方には時間を作って頂き説明を行なって行く。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	実施出来ていない。	はい...3人 ない1人	どちらとも言えない...5人 いいえ...2人	時期をみて対応して行く。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳や通信アプリを利用し、お子様の困り事や施設での出来事等の共有は毎日出来ている。	はい...5人 ない2人	どちらとも言えない...4人	今後は対面での対応も定期的におこなって行く。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	児童発達支援管理責任者や管理者が中心となり、定期的に何か悩み事、相談事はないかを確認しています。	はい...3人 ない3人	どちらとも言えない...3人 いいえ...2人	定期的におこなって行く。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	実施出来ていません。	はい...1人 ない1人	どちらとも言えない...8人 わからない...1人	必要に応じて対応して行く。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	管理者が法人代表の為に、迅速に対応しております。	はい...6人 ない2人	どちらとも言えない...3人	引き続き、迅速に対応して行く。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	連絡帳や通信アプリを利用し、お子様の困り事や施設での出来事等の共有を毎日出来ている。	はい...3人 ない3人	どちらとも言えない...3人 いいえ...5人	特徴に応じて文字や絵を活用し対応して行く。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月中に翌日行事予定利用表を保護者へ発信している。また活動状況は通信アプリを利用して都度発信している。	はい...11人		引き続き対応して行く。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報が含まれている書類は事務所の鍵が掛かる書庫に保管されており、その他データの取り扱いにも充分気をつけて対応している。	はい...12人		引き続き厳重に対処して行く。

公表日: 2024年7月14日

事業所名: 放課後等デイサービス HANON

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	説明している。	はい...9人 ...2人 わからない	定期的に情報共有をおこなって行く。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	出来ている。	はい...6人 いいえ...1人 わからない...3人 どちらも言え	訓練計画、実施報告も継続しておこなって行く。
	3 虐待を防止するための職員研修機会確保等の適切な対応	出来ている。		虐待は絶対に起こさせないので、研修参加は継続しておこなって行く。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束を行う必要がある児童がいないので過去の実績もない為に記録もなし。		今のところ、身体拘束をおこなう必要はないが、やむ得ず拘束を行う必要が発生した場合は事前に保護者への説明・了解を得る。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時にアレルギーの有無を確認しており、医師の指示書に基づく対応実績はなし。		適切に対応する。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	朝礼時にヒヤリハットの事例共有は行うが事例集の作成はおこなっていない。		事例集を作成し、定期的に事業所内で共有を行う。